

鑑賞の 前に

鑑賞の準備運動として

改めて、今日の気分や見え方の状態、色の記憶などを聞きます

共にリラックスしましょう！

展示室に入ったら

部屋の広さ、作品の数、部屋の状況（展示台や休憩椅子があるなど）を伝えます

具体的な表現で伝えよう

「そこ」 → 「すぐ下に」
「あっち」 → 「2m前方に」
「向こう」 → 「3時の方向5歩先に」

気になる作品や

お目当ての作品があるか聞きます

展覧会のポスターも参考に！
会場を周ってビビッとくる
作品の前で立ち止まりましょう！

鑑賞の 手順

① 伝える

作者や題名、大きさ、描かれているもの、印象的な色や形を伝えます

風景 / 人物 / 写実 / 抽象
どこに何が描かれているか
どんな色 / 絵の質感 など

- ❗ いちばんに飛び込んで見えたもの、感じたことを伝えてみる
- ❗ 身近なものに例えてみる
(トマトのような赤、〇〇さんに似ている)
- ❗ 描かれていないものも想像して伝えてみる
(音・会話・味・におい・季節・雰囲気・温度など)
- ❗ 擬音語・擬態語を使ってみる
(キラキラ・びゅうびゅう・ざわざわ・ほわん)
- ❗ 身体を使ってみる
(相手の手を動かして大きさを伝えたり、手の平に描いたり、同じポーズをとったり)

⑤ 楽しむ・深まる

感想や気持ちを共有して会話を乐めます

美術の知識がなくても、どんなイメージが浮かんだのか、何を感じたのかを話して、鑑賞を深め、お互いの「見え方」「感じ方」の違いを発見し、共有しましょう！

② 感じる

作品を見た感想を伝えます

温かい気持ちになりますね！
ちょっと怖いです
昔の恋人を思い出しました

③ 質問してもらう

分からない、知りたい、気になることをどんどん受け付けます

❗ 質問されることは深まっている証拠です

それってどんな形？明るい？暗い？
楽しい？悲しい？なぜそう感じるの？
どの部分からそう思うの？

④ 答えてみる

“正解”を伝えるのではなく、感じたままを答えます

分からなくてOK！
分からない気持ちまでも共有して一緒に考えてみましょう！